令和６年３月１日

# LIBRARY

## きよしこ

重松清

## おすすめ図書

僕が今回オススメする本は、重松清の「きよしこ」です。

この本は、ひとりぼっちだった少年「きよし」が、いつも言いたいことも言えず、悔しい思いをしていた。そして、思ったことを何でも話せる友達がほしかった。でも、そんな友達は夢の中にしかいないと思っていた。

しかし、ある年の聖夜に出会った「きよしこ」が「きよし」に言った。『伝わるよ、きっと』と。

大切なことを言いたいけれど言えない人にお勧めな小説です。ぜひ読んでみてください。

## 電気革命

デイヴィッド・ボダニス

私が今回オススメする本は「電気革命」です。

この本は電気と電子の研究の裏側にある劇的すぎる人間のドラマが描かれた本です。

同じ電信技術を追求しながら特許のために人生の明暗が分かれたモールスとヘンリー、聴覚障害者の恋人への愛から電話を発明したベルなどとても面白い話がたくさん詰まっています。

ぜひ読んでみてください。

図書委員会

Library班

１年　田村

２年　成田

２年　鳴海

# 西北中弘地区図書委員研修大会に参加して

令和５年１１月８日（水）に黒石市で地区の図書委員研修大会が開催されました。

黒石公民館を会場とした講演「中町こみせ通りと黒石市の文化史跡について」の他、金平成園（澤成園）やこみせ通り、黒石市立図書館の見学に行ったので、報告します。

## 中町こみせ通りについて

中町こみせ通りは、青森県で２つしかない重要伝統的建造物群保存地区に、弘前市仲町に次いで指定されています。「こみせ」には、雪が通路に入らないように「しとみ」という板が付いており、降雪時でも傘無しで買い物が出来、夏は日差しや雨を防いでくれます。黒石市で「こみせ」がなくなりつつありますが、この「中町」は昔の姿を残すため努力しているということでした。

また、「松ノ湯交流館」という昔の銭湯を改装した施設があり、地元の人にも来訪者にも、ふれあいの場所として活用されていました。

地域の人たちが、地域を保存しながら盛り上げていこうとしていることを知って、大変勉強になりました。

## 金平成園について

お金が行き渡り平和な世の中になりますようにと、願いを込めて造られたということですが、金の屏風で囲まれた接待のための部屋があったり、庭を一望できる部屋があったりと、とても豪華でした。

学流によって造られ、この流派による庭は津軽地域に多いとのことです。直線的に石や池が配置されるのが一つの特徴で、それぞれの石によって意味が様々あり、とても興味深かったです。特に、「礼拝石」が一番印象に残っていて、神様がいる一歩手前の石の上に立って、景色を見渡すと、辺りが古風に感じられました。

## 黒石市立図書館について

昨年開館したばかりで、新しくきれいな図書館で良いと思いました。屋上に岩木山を望める読書テラスや、市民活動室があって、快適に過ごすことが出来ると思いました。

報告

１年　工藤
１年　田村
１年　蝦名
１年　藤田